

2020年5月14日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、日本における最優秀運用会社に選出

「アジアインベスター アセット・マネジメント・アワード 2020」

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は5月4日、アジアにおける優秀な運用会社を選ぶ「アジアインベスター アセット・マネジメント・アワード 2020」(主催:「アジアインベスター」)において、日本における最優秀運用会社に贈られる「ベスト・ファンド・ハウス 2020(日本)」を受賞しました。同アワードの受賞は過去10年間で7度目となります。今回の受賞は、評価対象期間^{※1}における卓越した運用パフォーマンスをはじめ、運用資産残高^{※2}の前年同期比18%以上の成長や革新的な商品開発やソリューションの創出における取り組みなどが高く評価されたものです。

日興アセットの専務執行役員兼 CIO である辻村裕樹は次のように述べています。「日興アセットはグローバルな視点を持つ資産運用会社として、日々変化する市場の潮流を捉え、独自の商品開発力により多様かつ先進的な投資ソリューションを日本および世界中の投資家の皆さまにご提供しています。弊社のグローバル運用体制は、東京をはじめ、シンガポール、ロンドン、エジンバラ、ニューヨーク、シドニー、オークランドを含む11カ国・地域にまたがり、深い専門知識と多様性を備えた運用チームで構成されています。特に国内株式戦略は優れた運用実績を積み上げており、多くの戦略がベンチマークを上回っています」。

受賞の背景としては、まず国内リテール事業については、当該期間中に2つの革新的な商品を開発し、幅広い個人投資家の皆さまからご支持いただいたことが高く評価されました。1つは、国内外の株式、REITおよび国債に分散投資し、先物取引を活用することで純資産の3倍相当額の投資を行なう「グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)／(隔月分配型)」(2018年10月4日設定)です。当ファンドは日本の投信市場における「レバレッジ型バランスファンド」の先駆け的商品であり、純資産総額は計5,677億円に成長しています(2020年4月末時点)。もう1つは、破壊的イノベーションを起こし得る世界の企業に投資する「グローバル・プロスペティブ・ファンド／愛称:イノベティブ・フューチャー」(2019年6月28日設定)です。イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ米運用会社「アーク・インベストメント・マネジメント」の調査力を活用した当ファンドは当初設定額1,135億円を集め、2019年に設定された国内公募投信では最大の設定額となりました。直近の純資産総額は3,357億円(2020年4月末時点)となっています。

また、機関投資家事業においては、長引くマイナス金利環境下、収益機会を求める世界中の機関投資家の皆さまに対し、グローバルな視点を持つ資産運用会社として投資ニーズに沿った的確なソリューションをご提供していることなどが評価されました。特に、世界最大級の市場を誇るデンマークのカバードボンドに投資する戦略や、シンガポール現地法人の債券運用チームを中心とする高い中国債券運用ケイパビリティに基づく人民元建て債券戦略、さらには多様なマルチアセット戦略などのご提供が高評価を獲得しました。

さらに、今回の受賞にあたり、日興アセットのESG(環境、社会、ガバナンス)投資へのコミットメントも評価されました。日興アセットでは従来より、フィデューシャリー原則とESG原則を弊社の企業理念と企業活動の最高位に位置付けています。ESGを投資に反映させることが企業の長期的な価値の向上と持続可能な経済成長に貢献するとの信念から、あらゆる投資意思決定プロセスにESGの原則を組み入れ、受託者責任を果たすことに努めています。

日興アセットは今回の受賞を励みとして、今後も運用成績の更なる向上と競争力のある商品・サービスの提供に努めてまいります。

* 当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※1 2018年10月1日～2020年1月31日。

※2 上場投資信託(ETF)および海外子会社の運用資産を除く。

「アジアインベスター アセット・マネジメント・アワード」について

毎年アジアインベスター誌により選出される「アセット・マネジメント・アワード」は、世界的に優れた運用会社のほか、アジア各地域において優れたローカルプレゼンスを誇る運用会社やETF運用会社、販売会社などを表彰するものです。詳細はアジアインベスターの公式ウェブサイトをご覧ください

(英文): <https://www.asianinvestor.net/category/awards/190>

以上

■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料 上限4.4%(税抜4.0%)

換金手数料 上限1.1%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限0.6%

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬(年率) 上限3.045%(税抜2.95%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名^{*}の運用プロフェッショナルが約26.8兆円^{**}の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2019年12月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会